

イカ・タコ類全般、中層・深海性魚類、スナガニ、カブトガニの研究など：海洋生物生態学

教員名：和田年史

連絡先メールアドレス：wada[atmark]hitohaku.jp

◎ どのような研究をしていて、どんなことに役立つのか？

海洋生物（おもにイカ・タコ類、甲殻類、魚類等）を対象に、それらの多様性や生きざまを研究しています。特に生活史戦略や繁殖形質・行動などに着目して、それぞれの生きものがどのような環境で巧みに生活し、いかにしてより多くの子孫を残しているかを調べています。また、瀬戸内海側と日本海側で異なる性質をもつ兵庫県の各海岸エリアをフィールドとして生物相調査を行い、基礎生物学的な情報を集めて、沿岸生態系や自然環境の保全につなげる取り組みも行っています。幅広くさまざまな海洋生物の魅力を探究しながら、絶滅危惧種や今ある大切な自然環境の保全を目指しています。



◎ 主な研究業績

- 1) 《イカ類の繁殖行動生態の研究》和田年史（2010）「イカの精子競争—より多く子孫を残すための巧みな戦術と行動—」, In: 奥谷喬司 編著『新鮮イカ学』, pp 279-296, 東海大学出版会.
- 2) 《絶滅危惧種カブトガニの研究》T. Wada et al., (2016) Movement patterns and residency of the critically endangered horseshoe crab *Tachypleus tridentatus* in a semi-enclosed bay determined using acoustic telemetry. PLOS ONE, 11 (2): e0147429.
- 3) 《砂浜海岸のスナガニの研究》和田年史（2017）「生物にとっての健全な砂浜環境とは」, In: 須田有輔 編著『砂浜海岸の自然と保全』, pp 147-164, (株)生物研究社.

◎ 学生に向けて一言

海洋生物に興味・関心を持ち、ともに研究活動を行うことを希望する学生（社会人を含む）の大学院進学を受け入れます。研究テーマや対象生物などについては一緒に考えたいと思いますので、気軽に相談してください。学部までの専門分野は問いません。熱意ある方からの連絡をお待ちしています。